

文芸・詩集ご担当者様 2月20日発売 新刊のご案内



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

# トリロジー 冬／夏／春

いいざわこうたろう

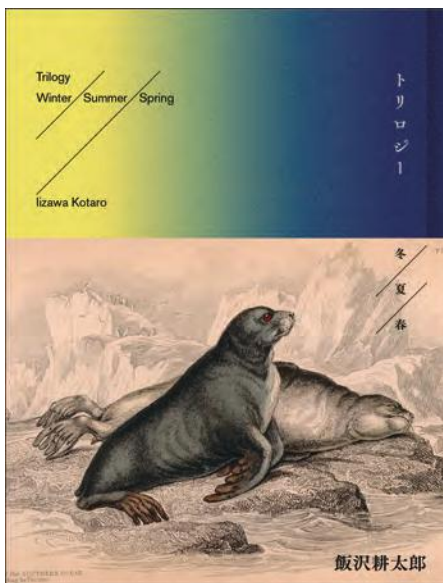
飯沢耕太郎著

ISBN978-4-89629-432-3 C0092 A5 判変型上製本／本文 158 頁／定価：2420 円税込

写真評論家として知られる飯沢耕太郎氏は近年、詩人としての活躍が目覚ましい。2冊目の詩集『完璧な小さな恋人』は2023年「中原中也賞」最終選考作品に残った。今回3冊目となる『トリロジー』を上梓。トリロジー（三部作）の第一部「冬／ウクライナのきのこと採り」には、ロシアのウクライナ侵攻やコロナ禍がその背景にある詩や、写真、絵画、音楽などからインスピレーションを得た詩をおさめた。第二部「夏／旅の断片」は、東アフリカなど世界を旅した際の詩。第三部の連作「春／アザラシたち」は、2023年春のひと月あまり、アザラシたちの幽霊に取り憑かれたように、12編のアザラシの詩が生まれた。現在の湿った空気を吹き飛ばすような傑作『トリロジー』がさっそうと登場した。

飯沢耕太郎 いいざわこうたろう

写真評論家、詩人。1954年宮城県生まれ。1984年筑波大学大学院芸術学研究科博士課程修了。『写真美術館へようこそ』（講談社現代新書、1996年、サントリー学芸賞）など著書多数。詩集に『茸日記』（三月兔社、1996年）、『完璧な小さな恋人』（ふげん社、2022年）。ほか『アフリカのおくりもの』（[詩とドローイング]福音館書店、2001年）、『石都奇譚集』（[小説とエッセイ]サウダージ・ブックス、発売＝港の人、2010年）、『月読み』（[俳句とドローイング]三月兔社、2018年）等がある。



装丁 福島よし恵

でも書きたいのは そんなことじゃない  
アザラシたちの哀しみ  
A grief filled with seals だ  
哀しみが  
つるつるの丸みを帯びた  
アザラシの体のかたちにごごまり  
氷の海をただよっていく  
連作「春／アザラシたち」より

\*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	トリロジー 冬／夏／春 飯沢耕太郎著 ISBN978-4-89629-432-3 定価 2420 円税込
ご担当： 様	冊	港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜 3-11-49 電話：0467-60-1374 FAX：0467-60-1375